

I 第44週の発生動向 (2009/10/26~2009/11/1)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**または**注意報**が発令されています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において**警報**が発令されています。

II 第44週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)		保健所名	定点数			
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点		インフルエンザ	小児科	内科	眼科
小児科+内科 (85) インフルエンザ	752	53.7	544	36.3	394	28.1	70	10.0	470	52.2	205	34.2	2,435	37.5	817	51	25.5	701	58.4					
小児科 (74) RSウイルス感染症	4	0.4	8	0.9	1	0.1	7	1.4	5	0.8	1	0.3	26	0.6	6			4	0.5					
(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	2	0.2					1	0.2	1	0.3	6	0.1	-11			2	0.3					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.0	6	0.7	4	0.4	2	0.4	2	0.3	2	0.5	25	0.6	-20	3	3.0	6	0.8					
(77) 感染性胃腸炎	25	2.8	7	0.8	5	0.6	5	1.0			11	2.8	53	1.3	12	4	4.0	21	2.6					
(78) 水痘	8	0.9	14	1.6	6	0.7	2	0.4	9	1.5	4	1.0	43	1.0	10			8	1.0					
(79) 手足口病			3	0.3	4	0.4	1	0.2	7	1.2	2	0.5	17	0.4	-2									
(80) 伝染性紅斑					1	0.1			18	3.0			19	0.5	3									
(81) 突発性発疹	6	0.7	3	0.3	2	0.2	1	0.2	3	0.5			15	0.4	-8			6	0.8					
(82) 百日咳															0									
(83) ヘルパンギーナ							6	1.2					6	0.1	1									
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.3					1	0.2			1	0.3	5	0.1	-5			3	0.4					
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0									
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0					2	2.0	1	0.5			5	0.5	1			2	1.0					
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					1	1.0	3	0.5	-6									
東地方	2	1	1	0	0																			
弘前	15	9	6	3	1																			
八戸	14	9	5	2	1																			
五所川原	7	5	2	1	1																			
上十三	9	6	3	2	1																			
むつ	6	4	2	1	1																			
青森市	12	8	4	2	1																			
合計	65	42	23	11	6																			

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、五所川原1人、上十三2人 (21年計：280人)
- (58) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：八戸1人 (21年計：3人)

IV 病原体検出情報

- ・病原体検出情報はありませんでした。
- ☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

伝染性紅斑

(五類定点把握)

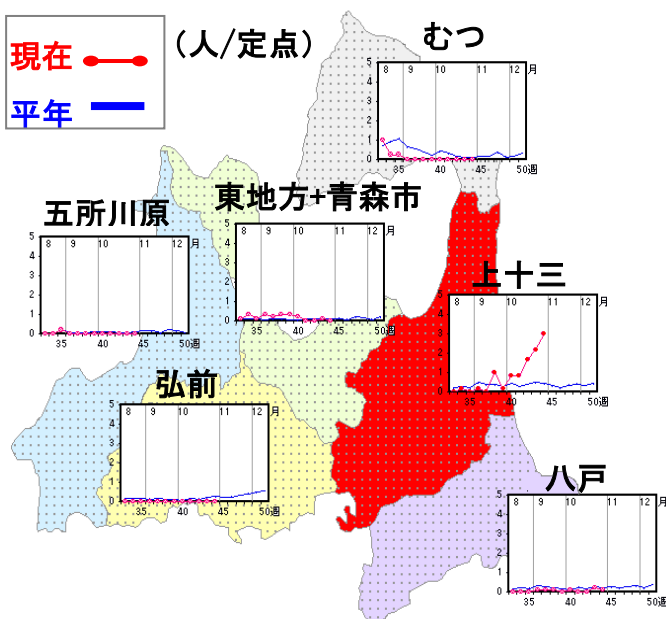


図1 保健所管内別届出数 (第44週現在)

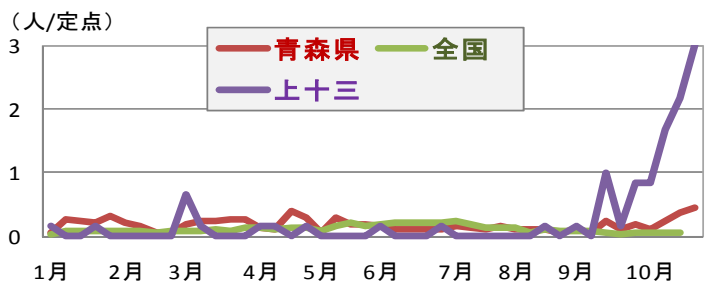


図2 月別届出数推移 (2009年：全国、青森県、上十三保健所管内)

伝染性紅斑の病原体は、ヒトパルボウイルス B19 で、通常4月から7月に多いとされていますが、上十三保健所管内では、前週(10/19-10/25)に引き続き、警報が発令されています(図)。本疾患は、10~20日の潜伏期間の後、かぜ様症状から、頬に境界鮮明な赤い発疹が現れることを特徴とする疾患です。年齢別患者数では4歳から6歳が約6割を占めていることから、流行地域の幼稚園、保育園では特に注意が必要です。ワクチンは無く、流行時期には人混みを避け、予防には手洗いの励行などがあります。

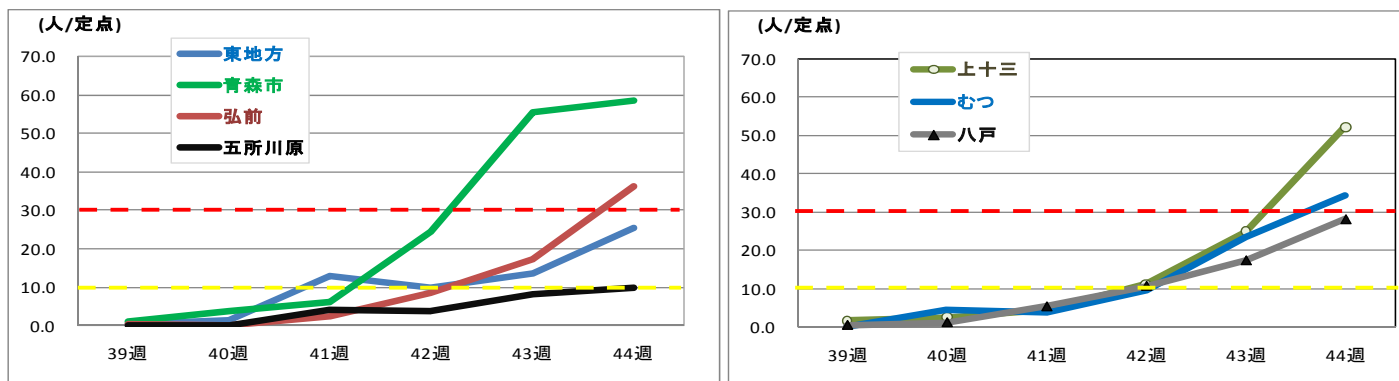
V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

- ・青森県全体の届出数は2,435人(817人増)です。
- ・**警報発令**保健所管内: 東地方+青森市、弘前、上十三、むつ
- ・**注意報発令**保健所管内: 八戸、五所川原

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	51	544	394	70	470	205	701
A型	51	543	279	69	415	201	689
B型	0	1	0	1	1	4	1

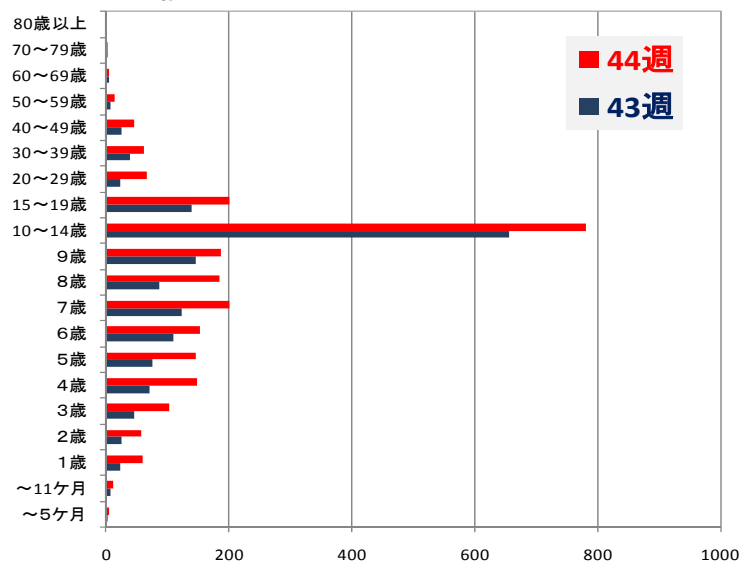
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



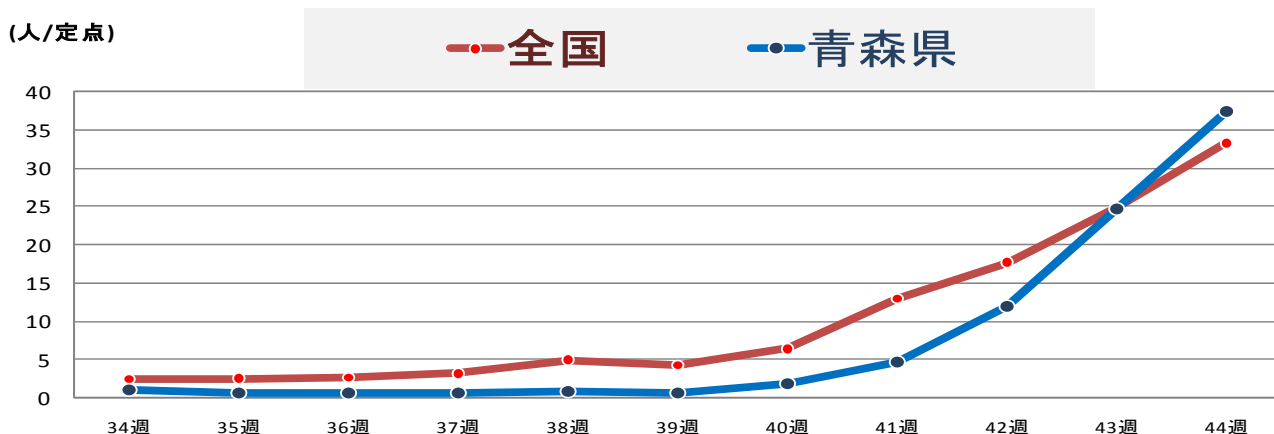
・警報開始基準値は30人/定点(図赤破線)、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点(図黄色破線)です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

(青森県保健所管内マップ)



V-4 全国比較 (2009年34週~44週)



8/17-8/23. 8/24-8/30. 8/31-9/6. 9/7-9/13. 9/14-9/20. 9/21-9/27. 10/12-10/18.10/19-10/25.10/12-10/18.10/19-10/25.10/26-11/1.